



国立大学法人 山梨大学
教育学部附属特別支援学校

第40回 公開研究会（二次案内）

主体的に学習に取り組む態度を育む授業づくり
～教師一人一人の授業力の向上を目指して～



令和8年1月24日（土）実施

本校の研究において、昨年度『知的障害特別支援学校における「主体的に学習に取り組む態度」を構成する要素の相対的な強さモデル（案）』を作成し、教師が主体の授業から児童生徒が主体の授業への転換を目指しているところです。令和6年12月の中教審「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について（諮問）」では“主体的に学びに向かうことができていない子供の増加”や“新たな時代にふさわしい学びや教師の指導性の在り方”といった課題点が示されています。前述の昨年度までの研究を深化発展させるべく、今年度の研究主題を上記のように設定し、実践の中での研究成果を発表する運びとなりました。

つきましては多くの皆様にご参加いただき、ご指導ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

<後援> 山梨県教育委員会

日程

8:50 9:20 9:30 (中・高) 9:40 (小) 10:30 11:00 12:00 13:10 13:40 15:30

受付	授業公開 小：プレイルーム 中：体育館 高：木工室	分科会 小：体育館 中：音楽室 高：きりの子の家 多目的ホール	昼休憩	全体会 体育館	講演会 体育館
----	------------------------------------	---	-----	------------	------------

※ 分科会会場については参加人数等によって変更する場合があります。

※ 8:50～9:20の間に、体育館にて中学部・高等部の作業学習で製造した製品の無人販売を予定しております。

内容

授業公開

小学部 9:40～10:30 中学部・高等部 9:30～10:30

学部	指導の形態・学級・グループ	授業名・授業の概要・場所	授業者
小学部	生活単元学習(学部合同) 	「2月のわくわく集会の準備をしよう～節分～」 場所:プレイルーム 本授業では、2月のわくわく集会「節分」に向けて、児童が主体となって準備を進めます。今年度のわくわく集会(学部集会)では、児童にとっても身近な季節の行事である七夕や音楽会などの準備に取り組んできました。児童自身が「やってみたい」と感じる活動を自ら選び、準備に携わる中で、児童が「できた」と実感することを大切にしています。児童がわくわくしながら、主体的に学ぶ姿を目指します。	西川 拓耶 石川 はる香 沖 明日佳 長田 みほ子 小野 綾子 加藤 完十郎 山中 淳子 前島 美香 小宮山 いづみ 小倉 志保実
中学部	総合的な学習の時間 (学部合同) 	「みんなでつくろうなかまコラボフェスティバル」 場所:体育館 本授業では、今年度の総合的な学習の時間のテーマである「自分で考えよう、仲間とコラボしよう」に基づき、生徒が4人1組のグループで模擬的な祭(=“フェスティバル”)を企画・開催します。来場者を楽しんでもらうためには何が必要かを自分たちで考え、仲間と協力しながらフェスティバルを創り上げます。生徒が「なりたい自分」の姿を思い描きながら自らの役割を果たす姿勢と、他者と協力して課題に取り組む力の高まりを目指します。	佐藤 大和 佐藤 佳奈 赤松 ゆうみ 金子 えりか 荻窪 拓生 木村 千里 中澤 正明 渡邊 恒子
高等部	作業学習(木工班) 	「きりの子バザールに向けての製品を作ろう」 場所:木工室 本授業では、2月の販売会(きりの子バザール)で販売する木工製品作りを行います。使ってくれるお客様を意識しながら、丁寧な作業で心を込め、製品作りに取り組んできました。製品作りで仲間と協働することを通して、主体的に学習に向かう気持ちや働く意欲が高まっていくことを目指します。	出戸 努 松土 一志 岩下 千夏

小学部	指導助言者 共同研究者 共同研究者	金丸 実奈江 川池 順也 田中 健史朗	氏(山梨県立ふじざくら支援学校 校長) 氏(山梨大学教育学部障害児教育コース 准教授) 氏(山梨大学山梨県小学校教員養成特別プログラム 准教授)
中学部	指導助言者 共同研究者	小林 ゆかり 松下 浩之	氏(山梨県教育庁特別支援教育・児童生徒課 副主幹・指導主事) 氏(山梨大学教育学部障害児教育コース 准教授)
高等部	指導助言者 共同研究者	中込 昭彦 内藤 千尋	氏(山梨県立あけぼの支援学校 校長) 氏(山梨大学教育学部障害児教育コース 准教授)
全体	共同研究者 オブザーバー オブザーバー	吉井 勘人 古屋 義博 永田 真吾	氏(山梨大学教育学部障害児教育コース 教授) 氏(山梨大学教育学部障害児教育コース 教授) 氏(山梨大学教育学部障害児教育コース 准教授)

演 題	知的障害のある児童生徒における 「学びの主体的な調整」を目指して ～さまざまな段階における「振り返る力」を考える～		
講演者	帝京大学教育学部初等教育学科 准教授 中村 晋 氏		
講師について	千葉県および筑波大学附属大塚特別支援学校にて、長年にわたり教員としてご勤務されました。現在は、帝京大学教育学部初等教育学科にて准教授を務められるほか、他大学等でも非常勤講師として教育活動を展開されています。 特別支援学校在職中は、知的障害や自閉スペクトラム症の児童生徒に対するコミュニケーションや社会性発達の支援について研究され、現在は、学校現場の教員と知的障害のある児童生徒の自己調整学習の促進を目指した研究に取り組まれています。特に、授業談話分析を通じて児童生徒と教師の相互作用を分析し、その働きかけの特徴を明らかにすることで支援のあり方を探求されています。 また、下記の著書を通じて、教育現場における支援のあり方や授業構想について、広く発信されています。 【主な著書】 『肢体不自由児の心理』（ミネルヴァ書房、2024年） 『小学校教師の専門性に基づく授業構想』（現代図書、2024年） 『改訂新版 くらしに役立つ社会』（東洋館出版社、2024年） 『すべての子どもに寄り添う特別支援教育』（ミネルヴァ書房、2023年） 『自ら学び、自ら育つ力の育成を目指してー自己調整学習による生徒主体の学習評価の実践を通してー』特別支援教育研究（東洋館出版、2023年） 『小学校教師の専門性探求』（現代図書、2023年） 『知的障害特別支援学校における「深い学び」の実現』（東洋館出版社、2020年） 『自閉症のための初期社会性発達支援プログラム：意図と情動の共有による共同行為』（Kindle版、2021年 日本文化科学社、2009年） 『新学習指導要領を踏まえた「学習評価」の工夫』（ジアース教育新社、2020年）		



会場案内



《ご案内》

○JRをご利用の方

JR甲府駅北口より徒歩20分

○山梨交通バスをご利用の方

甲府駅北口より「2番」乗り場から「武田神社／積翠寺」行き乗車

山梨大学前バス停下車 徒歩3分

※土曜日で本数が少ないため、事前に時刻表をご確認ください。

○タクシーをご利用の方

甲府駅北口より10分

○自家用車をご利用の方

案内に従って附属小の校庭へお停めください

※駐車場の台数に限りがございます。
できる限り公共交通機関のご利用や乗り合わせにてお越しください。

申し込み

参加費：無料

令和7年12月19日(金)までに、以下にお申込み下さい。



○左記QRコードより、お受けいたします。(担当:教務主任 波多野浩史)

○本校HPにも、公開研究会の詳細および上記申込リンク、研究の概要を掲載しますので、ご覧ください。

第40回公開研究会申込みフォームURL <https://forms.office.com/r/dC9bUuvYkR>

事前資料：公開研究会直前に全体会の資料等をHP上に掲載予定

昼食：当日、お弁当の販売はありません。福祉事業所によるパンの販売を予定しておりますのでご利用ください。

※ 上履きをご持参ください

お問合せ

山梨大学教育学部附属特別支援学校



〒400-0006 山梨県甲府市天神町17-35
TEL 055(220)8282 FAX 055(220)8322
E-mail futoku-ken@yamanashi.ac.jp
URL <https://www.futoku.yamanashi.ac.jp>

